

祐綏神社

祐綏神社は、徳山毛利家の祖霊を祭ったもので、文化8年（1811年）に現在の動物園内に建立され、初代藩主就隆と9代藩主元蕃が祭ってあった。

戦災で神社は全焼し、そのまま放置していたが、毛利家の御霊社が残っていたので、動物園開園の昭和33年に神域を拡張して現在地に御神体を遷座した。



荒神社（東辻）

榎谷氏宅西にモクの大木1本がある荒神社があった。神社合併取除き令により遠石八幡宮に合併されたが、現在も小さな石堂があり、そばにお大師様が祭られている。

荒神は三宝荒神ともいい、一般にはかまどの神であるが祖先神、土地の神としても信仰している。

三宝とは仏宝、法宝、僧宝をいい、これを守護する神であるとされ、不浄を嫌う、荒く、たゞりやすい神といわれている。



かまど神社（中辻）

現在の角氏宅北、大森氏宅西に約100坪（330㎡）の敷地に、かまど神社が祭られていた。

4坪ぐらいの神殿があり、モクの大木3本と二人かかえでは手のとどかないタブの大木が1本あった。

お祭りは、毎年5月28日と10月28日に行われ、境内ではもみ太鼓をだし、花すもうや「かぐら」が催されていたようであるが明治42年ごろ神社合併取除き令により遠石八幡宮に合祀された。